

三原市日名内川における有機フッ素化合物の水質調査結果について

1 概要

- 本年 8 月以降、三原市等から、日名内川に流入する産業廃棄物最終処分場の調整池の排水を地域住民が調査したところ、有機フッ素化合物（以下「PFOS 等」という。）の指針値である 50ng/L[※]を超えて検出されたとの情報提供があった。
- PFOS 等の指針値は、河川等の公共用水域等に適用されるものであり、調整池の排水には適用されないが、周辺の公共用水域等の状況を把握するため、本県は、三原市と連携して、9 月 22 日に、この地点の直下を含む日名内川 3 地点と周辺の地下水 2 地点の水質調査を実施した。
- 10 月 6 日にその結果が判明し、全ての地点において PFOS 等が指針値以下であった。

※ 体重 50 kg の人が一生涯、毎日 2 リットル飲用したとしても、この濃度以下であれば、健康に悪影響が生じないと考えられる水準

2 調査結果

(1) 調査実施日

令和 7 年 9 月 22 日

(2) 調査結果（調査地点は別図参照）

- 日名内川 3 地点及び周辺の地下水 2 地点の全ての地点で、指針値以下であった。

調査地点 ^{※1}		濃度 (ng/L)			指針値
		PFOS 及び PFOA (合算値) ^{※2}	PFOS	PFOA	
1	日名内川 上流地点	0.7	0.4	0.3	50ng/L (PFOS 及び PFOA の合算値)
2	日名内川 農業用取水口付近	13	2.0	11	
3	日名内川 下流地点	4.9	1.1	3.8	
4	地下水	1.1 ^{※3}	0.9	<0.2	
5	地下水	1.5	0.3	1.2	

※1 地下水は井戸所有者にご協力いただき調査しているため、詳細な採水地点については公表を差し控える。

※2 調査結果は有効数字 2 桁で処理した値を掲載しているため、「PFOS 及び PFOA（合算値）」の値は必ずしも「PFOS」「PFOA」の結果の合算値とは一致しない。

※3 PFOA が定量下限値未満のため、「公共用水域水質測定結果の報告について（環水規 51 号）」の、「硝酸性窒素と亜硝酸性窒素」の合計値の算出方法に準じて、「PFOS」と「PFOA の定量下限値」の合計値を記載している。

別図 調査地点位置図 (●河川調査地点)



電子国土 WEB (国土地理院) を加工して作成